不況で生活も経営も大変なのに

国保税の値上げはやめてください！

えっ!? 1世帯あたり35,500円の値上げ！

１月６日（木）に開かれた国民健康保険運営協議会で、市から諮問された国民健康保険税の引き上げ案が承認されました。3月の市議会で決まれば4月から値上げになります。

今回の案は、保険税を約20％引き上げるもので（表参照）、１人当たり16,538円、１世帯あたり35,459円の負担増を見込んでいます。

同時に低所得者に対しては、これまでの１割、４割、６割軽減を廃止し、２割、５割、７割の軽減へ拡大します。（ただし、これまで１割軽減を受けていた世帯では、２割軽減に該当しない世帯が出てきます）

この引き上げによって、市は約３億円の増収となります。

○国民健康保険税率の改正案

	医療給付費分・後期高齢者支援金分・介護納付金分合計				
	所得割 %	資産割 %	均等割 円	平等割 円	賦課限度額 円
現行	5.95	30.30	27,500	27,900	730,000
改正	7.80	25.00	38,000	34,000	730,000

赤字の最大の原因は国の補助金の削減

市は、値上げの理由として、毎年約３億円の赤字があり、基金も底をついたと言っています。しかし、赤字の大本は国の責任です。

国民健康保険は、所得に対する保険税（料）の負担率が組合健保などに比べて大きく、重い負担になっています。そのため国が50％を負担することになっていますが、今では、国の負担率は50％から24％へと下がり、愛知県も負担を削ったことが市町村の国保会計を圧迫しています。

当面は一般会計からの繰り入れの充実を

長引く不況の中、経営難や失業、年金の引き下げなど、市民の暮らしは大変です。国保税の収納率も下がっています。こんなときの値上げは許せません。

当面は値上げをせず、一般会計からの繰り入れを充実することが必要ではないでしょうか

署名にご協力ください

署名用紙は同封した封筒に入れ切手をはらずに投函して下さい。

愛西民報　2011年２・３月号外　発行：日本共産党愛西市委員会　☎28-3696　日本共産党の政策を紹介します。

キリトリ

国民健康保険税の引き上げ中止を求める要望書

愛西市長　八木忠男様

１月６日（木）に開かれた国民健康保険運営協議会で、市から諮問された国民健康保険税の引き上げ案が承認されました。この引き上げによって、一人当たり16,538円、１世帯あたり35,459円の負担増になると試算されています。

平均20％もの値上げは、この不況の中、経営難にあえぐ自営業者や、給料や年金が下がっている市民の生活に大きな負担となります。

市は、「合併で国保税の各負担割を４町村の一番低い値にあわせ、大幅に引き下げたため、単年度収支が赤字になった。補填する基金も底をついた」と引き上げの理由を説明しています。

しかし、基金が底をついたのは、一般会計からの繰り入れを減らしてきたからであり、さらには、国がその負担分を大きく減らしてきたからです。

国民健康保険は、国民皆保険の基盤です。 国民健康保険は、所得に対する保険税（料）の負担率が組合健保などに比べて大きく、重い負担になっています。だからこそ国が50％を負担することになっています。

市は、この不況の中での大幅な引き上げは止め、当面は、一般会計からの繰り入れを充実させ、国や県に対して、負担を50％に戻すよう求めてください。

要望項目

一、国民健康保険税の値上げを中止してください。

氏　　名	住　　所

取扱団体　（日本共産党）